

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【老年看護学】	科目名	老年看護学方法論Ⅲ (運動器)
単位（時間）	1 (30時間うち15時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 運動機能障害を持つ高齢者の看護を理解する。		
<p>【講義内容】</p> <p>第1章 運動器の看護を学ぶにあたって</p> <p>A 医療の動向と看護</p> <p>B 患者の特徴と看護の役割</p> <p>C 姿勢・動作モデルとしての看護の役割</p> <p>第6章 患者の看護</p> <p>A 疾患をもつ患者の経過と看護</p> <p>B 援助のためのおもな知識と技術</p> <p>C 症状に対する看護</p> <p>D 検査・診断を受ける患者の看護</p> <p>E 保存療法を受ける患者の看護</p> <p>F 手術を受ける患者の看護</p> <p>G 疾患をもつ患者の看護</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>(運動器) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10] 運動器 第1章・第6章</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			

分野（領域）	専門分野Ⅱ 【老年看護学】	科目名	老年看護学方法論Ⅲ (リハビリ)
単位（時間）	1 (30 時間うち 15 時間)	開講時期	1 年次 2 年次 3 年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 障害を持つ人に対するリハビリテーションについて理解し、看護の役割について理解できる。		
<p>【講義内容】</p> <p>第 1 章 リハビリテーション概論</p> <p>A リハビリテーションの定義と理念</p> <p>B リハビリテーションの対象と制度</p> <p>C 疾病・障害・清潔機能の分類</p> <p>D リハビリテーションの分野</p> <p>E リハビリテーション医療の提供</p> <p>第 2 章 リハビリテーション看護概論</p> <p>A リハビリテーション看護の定義と専門家</p> <p>B リハビリテーション看護の対象</p> <p>C リハビリテーション看護の方法</p> <p>第 3 章 運動器系の障害とリハビリテーション看護</p> <p>A 総論</p> <p>B 骨折</p> <p>C 関節リウマチ</p> <p>第 4 章 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護</p> <p>A 脳血管障害</p> <p>B パーキンソン病</p> <p>C 脊髄損傷</p> <p>第 5 章 呼吸器・循環器系の障害とリハビリテーション看護</p> <p>A 慢性閉塞性肺疾患</p> <p>B 虚血性心疾患</p> <p>第 6 章 感覚器系の障害とリハビリテーション看護</p> <p>A 視覚障害</p> <p>B 聴覚障害</p>			
<p>【テキスト】</p> <p>(リハビリテーション) 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記 ; 100 点をもって満点、60 点をもって合格とし、60 点未満を不合格とする</p>			